

第5次寒河江市振興計画の見直しについて

～ 市民の意見を十分にふまえた、市民主体の計画の見直し～

「市民主体の見直し」のポイント

- (1) 振興計画の見直しを審議する振興審議会委員を市民から公募。(委員20名のうち公募委員3名)
- (2) これまでの取組み(計画の進捗)を市民目線で検証・評価する市民アンケートを実施。
- (3) 地域ワークショップによる話し合いを通じて、地域の課題や地域を良くする意見など地域の声を整理し提出。
- (4) 見直しの過程において地域座談会を開催し、市民と意見交換。

市民アンケートの実施

まちづくりに対する市民ニーズを把握するものと、計画前期の取組みを評価するものの2種類のアンケートを実施。
市民4,000名に送付し、1,874名(46.9%)から回答。

「住みよい」「今後も住み続けたい」「愛着を感じる」市民が多いが、「雇用」や「医療・福祉の充実」などが課題に。

8地域ワークショップの地域での話し合い

市内8地域において、地域の課題やその解決方法について話し合うワークショップを開催。
約200名(1地区15～30名)の市民が話し合いに協力。

話し合いを通して、地域の課題やそれをふまえての地域の暮らしやすさ、魅力を上げる意見を整理して提出。



これらをふまえ

振興審議会(20名うち公募委員3名)による見直しの審議

計画前期の取組みの検証
市民ニーズの反映
状況(時代)にあった計画の検討

見直し後の計画を策定



検討状況や素案など
地域座談会での意見交換

進見直し今後5年間さがえのまちづくりを推
見直された振興計画に基づき、